

～真珠養殖発祥のまち・海女が日本一多いまち～

伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議 会議録

会議の名称	第2回伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議
開催日時	平成27年8月21日（金）13:30～14:30
開催場所	鳥羽市民文化会館3階中会議室
議題	1. 平成27年度事業計画素案 2. 実行委員会について 3. 三重県の取り組みについて 4. その他
会議資料	【事項書】 【席次表】 【構成員名簿】 【資料1-1】平成27年度事業計画（素案） 【資料1-2】サミット・インバウンド等対策に関する鳥羽市及び鳥羽おもてなし会議の取り組みについて（参考） 【資料2】実行委員会構成員 【資料3】三重県等の取り組みについて
公開・非公開の別	公開
出席者（敬称略）	<顧問> 三重県議会議員 中村 欣一郎、鳥羽市議会議長 浜口 一利 <委員> 鳥羽磯部漁業協同組合代表理事組合長 永富 洋一、鳥羽商工会議所会頭 松田 音壽（代理）、鳥羽市観光協会長 吉川 勝也、近畿日本鉄道株式会社鳥羽駅長 高森 正浩、東海旅客鉄道株式会社伊勢市駅長 橋本 正巳、三重交通株式会社伊勢営業所長 中林 広己、伊勢湾フェリー株式会社取締役社長 福武 章夫（代理）市長 木田 久主一、企画財政課長 上村 和弘、農水商工課長 浜口 貢、観光課長 清水 敏也、環境課長 東川 元洋、建設課長 南川 則之、健康福祉課長 寺田 勝治（代理）、定期船課長 齋藤 貞之、消防長 細木 正蔵（代理）、教育委員会総務課長 下村 悦生 <オブザーバ> 鳥羽海上保安部、鳥羽警察署、三重県サミット事業推進課主事 中村 孝之
欠席者（敬称略）	<委員> 鳥羽市自治会連合会長 傍島 寛、鳥羽市旅館組合連絡協議会長 寺田 順三郎、三重県タクシー協会志摩支部長 上野 文和、 <オブザーバ> 鳥羽海事事務所長 木原 盛意
事務局	[鳥羽市総務課] 益田、田畑、小崎

開会・会長あいさつ

1. 平成27年度事業計画素案について

(1) 観光課、農水商工課より、本市における既実施事業について説明（資料1-2）

（質問）なし

(2) 事務局より、【資料1】事業計画の素案について説明

⇒挙手多数により、事業計画素案を承認

市議会承認後（9月中旬）、予算案の書面決議の予定を説明。また、その後の事業推進は実行委員会で行う旨を説明。

（意見・質問）

委員：多言語はどの国の言語を予定しているか。

委員：観光パンフレットでは5か国語を予定している。観光総合パンフレットとして、企画財政課とも協議しながら、観光だけではなく市の人口その他の概要を掲載したものを考えている。予定している言語は、日本語、英語、中国の繁体語、簡体語及び韓国語です。G7の他の言語については、QRトランスデータ（QRコード）で対応したい。

委員：フランス語、ドイツ語等、サミット参加国の多言語対応はやらないということか。

委員：紙で作るのは5か国語で、その他は紙印刷しないが、QRコードで18言語に変換できるというもの。

委員：サミット弁当という記載があるが、具体的にどのあたりまで進んでいるのか。

委員：サミット弁当については、鳥羽の魚ブランド化というものがあり、メディアの方に食べて頂いてブランド化につなげていく取り組みを行っているところで、具体的な取り組みはこれから。

委員：日本人より海外の方が和食に対する興味が深い。以前、厳しい審査を経て職人弁当というものを作っていたが、弁当にしては技術が盛り込まれたものであるため、そういったものの活用をお願いしたい。

委員：プレス関係の方を含め、ノベルティに関しては予算をつけて頂きたい。近隣市はノベルティの配布を検討しているとの話を聞いた。5000名くらいの対象として、内容はこれからのいろいろな方面から案を出していただいて検討してはどうか。

また、鳥羽の宿泊施設が180件くらいある。離島に対する周遊型の旅行商品を検討して頂けることで少し安堵をしているが、警備関係の人が利用する開催前2か月間くらいの間においては、離島やパールロード沿線の小規模旅館や民宿は残ってしまうのではないかと懸念がある。前回もお願いしたが、市として宿泊に対する窓口を一本化できないか。現在、協会の方に問い合わせが来ている。視察された方の意見もお聞きしたい。

事務局：県の宿泊予約センターとも調整をしながらやっていくことになる。洞爺湖視察の結果では、特に妙案はないが、ノベルティや宿泊調整は、実行委員会の方で調整を行うのでよろしく願います。

顧問：みなとまつりで配布するような車に張るステッカーのようなものは作ってはどうか。また、事業実施にあたり各部署がサミット関連事業記事を広報することになるが、市として、サミットの公式なチラシは作成しないのか。

事務局：事業が固まり次第、実行委員会の中で検討し進めていく。

顧問：ある業界の方に聞いたが、請求書を送付するときに、地域の情報チラシを何でもいいので同封する活動を行っている。郵送物に何か同封してPRするという方法も検討いただきたい。

事務局：参考にさせて頂く。

顧問：海女のPRについて、マリインターミナルにおいてある木彫りの作品も非常にレベルの高いもので好意的に作品を提供してくれているので、活用いただきたい。予算があれば、サミット用に何か垂れ幕などを持てるスタイルなどに掘ってもらいたいということも考えて頂きたい。

事務局：検討していきたい。

委員：配偶者プログラムの状況についてご説明を頂きたい。また、プレス関係について、前回洞爺湖では4,000人ほどのプレスの方が来られたと聞いている。先遣隊への対応について、どれぐらいの期間となるかなど情報はあるのか。

事務局：まず、配偶者プログラムについては、「資料3 三重県等の取り組み」にて記載があるが、県からの提案要請がありまして、既に市として提案をしている。先遣隊について、時期、人数はその国によって違いはあると思われる。県を通じて情報が入ってくることになる。

会長：配偶者プログラムについては、未だわからない状態である。

2. 実行委員会について

事務局より、【資料2】実行委員会のおり決定した旨説明。

会長を副市長と説明。

3. 三重県の取り組みについて

事務局より、【資料3】三重県の取り組みについて説明。

追加事項として、県民会議が独自でサミットロゴマークについて作成を検討しており、グラフィックデザイナーの近藤敦也氏に依頼し、投票で決定する予定である旨を説明。

(オブザーバより追加説明)

・弁当供給センターについては、10月頃に企画提案コンペにより決定し、12月より開設を予定。

・ポスターについては、第1弾から第5弾まで作成予定。次回第2弾はシンボルマーク周知。第3, 4弾は公募でおもてなしをテーマに。第5弾はサミット終了後に継続を表現したポスター作製を予定。

(意見・質問)

委員：一年くらいの期間中ポスターを5回も作る意図は？

オブザーバ：初期のポスターをずっと掲示していると停滞している感があるため、事業は進んでいるということをPRするため。

委員：国際メディアセンターについて、洞爺湖サミットの時は何も無いところに建設したため、100億の予算を投じたと聞いている。今回はそのようなことはないと思うが、賢島とサンアリーナ間に光ファイバー等の整備は予定されているのか。

オブザーバ：担当ではないため情報は持ち合わせていないが、外務省と情報交換しながら、調整を行っている。

4. その他

(1) 各団体からの情報共有

(意見) なし

(2) 下記予定について事務局より説明

9月中に第1回実行委員会を予定している。

8月24日マリンターミナルで知事と市長の1対1対談の折に鳥羽での配偶者プログラムの実施を提案。

8月28日県庁で知事へあらためて提案を行う。市長とともに本会の副会長で都合の付く方に同席を要請したい。

(3) その他

みえだより (伊勢志摩サミット特集版) 紹介